

投資信託取引に関する注意事項

投資信託のお申込みに際しては、各ファンドの契約締結前交付書面(交付目論見書および補完書面)をよくお読みになり、契約内容およびリスク・手数料等をご理解のうえ、お客様ご自身の判断と責任においてお取引ください。

[全ファンド共通事項]

- ・投資信託は銀行預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。また、SMBC信託銀行で取扱う投資信託は金融商品仲介口座を通じた取扱いの場合を除き、投資者保護基金の対象ではありません。
- ・投資信託は、元本・利回りの保証はありません。

ファンドの運用に伴う主なリスク

価格変動・市場リスク ファンドの基準価額は、組入れた株式・債券等の値動きの影響により、投資元本を下回ることがあります。

信用リスク ファンドの基準価額は、組入れた株式・債券の発行者の経営・財務内容の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を下回ることがあります。

為替変動リスク ファンドが表示通貨以外の通貨建ての資産に投資する場合、投資対象証券と表示通貨との為替の変動により損失を被ることがあります。また、外貨建ての投資信託の場合、基準価額も外貨建てで表示されるため、外貨建てで元本を上回っていても為替の変動により円換算ベースでは、投資元本を下回ることがあります。

カントリーリスク 投資対象国・地域の政治、経済、社会情勢の変化により、市場が大きく動き、これにより投資元本を下回ることがあります。また、一般的に、投資対象先が新興諸国市場の場合には先進国市場への投資と比べ、より大きな価格の動きを伴います。

これらのリスクおよび損益は、お客様ご自身のご負担となります。

- ファンドの購入・換金にあたっては各種手数料等(申込手数料、信託財産留保額、条件付後払申込手数料等)がかかります。また、これらの手数料等とは別に信託・管理報酬、その他費用(監査報酬、信託事務諸費用、成功報酬等)がかかり、信託財産を通じてご負担いただきます。お客様にご負担いただく手数料はこれらを足し合わせた金額となりますが、これら手数料等はファンド毎に、また運用状況や保有期間等により異なるため、具体的な金額・計算方法を記載することができません。各ファンドの手数料等の詳細は、契約締結前交付書面(交付目論見書および補完書面)でご確認ください。
- 外貨建ての投資信託を円資金から該当通貨に交換したうえでお申込みの場合、別途、為替手数料が片道1円/往復2円(上限)がかかります。
- 米国税法上の米国人(米国民、米国居住者またはグリーンカード保有者)は、居住・非居住にかかわらず投資信託の取引申込みができません。また、非居住者および当行への届出住所が日本国外のお客様についても同様となります。
- 契約締結前交付書面(交付目論見書および補完書面)は、当行の支店等でご用意しております。

商号等：株式会社SMBC信託銀行 登録金融機関 関東財務局長(登金)第653号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

No.1702

[プレスティア オンライン専用ファンドの注意事項]

- プレスティア オンライン専用ファンドは、購入および換金のお申込みをプレスティア オンラインに限定しています。当行の支店・出張所およびプレスティアホン インベストメント(以下、支店等)での購入および換金に関するご相談およびお申込みは承っておりません。
- 支店等ではプレスティア オンライン専用ファンドの「契約締結前交付書面(交付目論見書および補完書面)」および、「販売用資料」等をご用意しておりません。ホームページおよびプレスティア オンラインでご確認いただけます。

No.1511

フィデリティ投信株式会社

2018年2月5日の世界金融市場は、米長期金利の上昇を警戒し米国株式が軟調に推移したことを受けて世界的に株式市場が調整しました。適温経済が今後も続くのか、相場展望についてお伝えします。

● 主要指数の騰落率(現地通貨ベース)

	2/5 (前営業日比)	年初来
米国株式(S&P500種指数)	▲4.1%	▲0.8%
米国株式(ナスダック指数)	▲3.8%	0.9%
米国株式(ダウ工業株30種平均)	▲4.6%	▲1.5%
ユーロ圏株式	▲1.3%	▲0.7%
日本株式	▲2.2%	0.3%
アジア株式	▲1.5%	3.4%
中国株式	▲0.4%	15.1%
インド株式	▲0.9%	2.1%
米国リート	▲3.0%	▲9.9%
米国ハイ・イールド債券	▲0.2%	▲0.03%

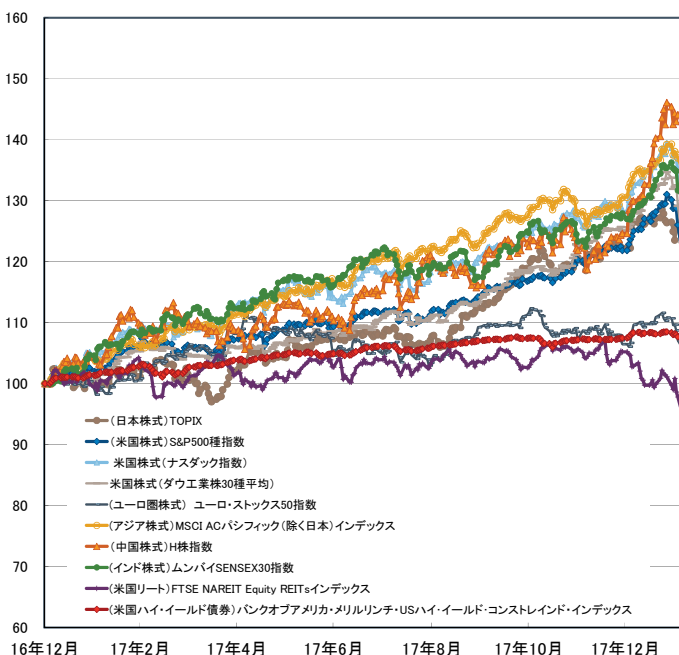
(注) RIMESよりフィデリティ投信作成。ユーロ圏株式：ユーロ・ストックス50指数。日本株式：TOPIX。アジア株式：MSCI AC/パシフィック(除く日本)インデックス。中国株式：H株指数。インド株式：ムンバイSENSEX30指数。米国リート：FTSE NAREIT Equity REITsインデックス。米国ハイ・イールド債券：バンクオブアメリカ・メリルリンチ・USハイ・イールド・コンストレインド・インデックス。2018年2月5日時点(各終値ベース)。

● 主要通貨の騰落率(対円レート)

	2/5 (前営業日比)	年初来
米ドル	▲0.2%	▲2.3%
ユーロ	▲0.4%	1.1%
英ポンド	▲1.0%	1.3%

(注) RIMESよりフィデリティ投信作成。WMロイターを使用。2018年2月5日時点(各終値ベース)。

● 主要指数の推移(現地通貨ベース)



(注) RIMESよりフィデリティ投信作成。期間：2016年12月末～2018年2月5日。期間初を100として指数化。

● 日本および欧州株式相場の動向

先週末の米国株式の下落を受けて5日の日本株式相場は▲2.2%と下落しました。またアジア各国、欧州の株式相場についても軟調な展開となりました。

● 米国株式・米国リート・米国ハイ・イールド債券相場の動向

5日の米国株式市場は荒い値動きの中、大幅続落しました。ダウ工業株30種は一時1600米ドル近く下げ、日中の下げ幅としては過去最大を記録しました。S&P500種とダウ工業株30種は2011年8月以来の大幅な下落率となりました。S&P500種は今年の上昇分を失い、年初来▲0.8%安となっています。

2日に発表された雇用統計を受け、賃金上昇からインフレに対する懸念が一部高まり、米連邦準備制度理事会(FRB)が予想より速いペースで利上げするとの見方が広がったことがきっかけとなりました。

また、米国リート相場は▲3.0%、米国ハイ・イールド債券相場は▲0.2%と下落しました。

● 為替相場の動向

5日の為替相場では、リスク資産回避の動きから、安定通貨と見なされている円に資金が流入し、一時は108円台まで円高が進行しました。米ドルやユーロは対円で下落しました。5日の円/米ドルは110.11円、円/ユーロは、136.76円となりました(WMロイター)。

● 今後の見通し

今回の米国株式の大幅調整はファンダメンタルズに基づいたものでなく、システム取引などのテクニカルな調整とみています。株式市場全体がそもそも金融緩和によってバリュエーションが拡大していましたので、インフレ懸念が高まると中央銀行がバランスシート縮減ペースを速めるとの観測が広がり、バリュエーション全体の調整が起きたと考えられます。

したがって、業績などファンダメンタルズの裏付けが乏しく、バリュエーションの伸長によって膨らんだ資産は、インフレ懸念が高まる度に売られる傾向が加速すると考えます。そうした中では、景気が堅調に推移する上で業績が拡大する(売上が伸び、利益率拡大が見込まれ、営業キャッシュフローの増大、ないしそこから投資、といったビジネスモデル上の好循環を有する)個別の企業を選別したり、キャッシュフローが堅固でバリュエーションの比較的低位な資産を選別することが肝要と思います。

(文中の騰落率は特にことわりのない限り、現地通貨ベースです。)

フィデリティ投信株式会社

ご注意点

- 当資料は、信頼できる情報をもとにフィデリティ投信が作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。
- 当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値、運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- 当資料に記載されている個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄又は企業の株式等の売買を推奨するものではありません。
- 当資料にかかわる一切の権利は引用部分を除き当社に属し、いかなる目的であれ当資料の一部又は全部の無断での使用・複製は固くお断りします。
- 投資信託のお申し込みに関しては、下記の点をご理解いただき、投資の判断はお客様自身の責任においてなさいませうようお願い申し上げます。なお、当社は投資信託の販売について投資家の方の契約の相手方とはなりません。
- 投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。
- 販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入しておりません。
- 投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。
- 投資信託は、国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。従ってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。又、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては目論見書や契約締結前交付書面を良くご覧下さい。
- ご投資頂くお客様には以下の費用をご負担いただきます。
 - ・申込時に直接ご負担いただく費用: 申込手数料 上限 4.32%(消費税等相当額抜き4.0%)
 - ・換金時に直接ご負担いただく費用: 信託財産留保金 上限 1%
 - ・投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用: 信託報酬 上限 年率2.0844%(消費税等相当額抜き1.93%)
 - ・その他費用: 上記以外に保有期間等に応じてご負担頂く費用があります。目論見書、契約締結前交付書面等でご確認ください。

ご注意) 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、フィデリティ投信が運用するすべての公募投資信託のうち、徴収する夫々の費用における最高の料率を記載しておりますが、当資料作成以降において変更となる場合があります。投資信託に係るリスクや費用は、夫々の投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に良く目論見書や契約締結前交付書面をご覧下さい。

フィデリティ投信株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第388号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

IM180206-1 CSIS180206-5